

以下 汚れあり

破損あり

1/21



貴井樂企のころより日海代と出へ高寺園のゆかり  
 海原のうづしと申せぬ事ありな中を記す  
 わきく雪の津川の白神嶽を以て遊り見せぬ  
 東の蝦夷の國不斯黎弊都あり津輕の岩倉杜の坡河の  
 川中にも碕河ありたし都賀呂井十三の港も遊き  
 多通毗の沿り三廐の浦の西も多通毗の碕あり松前  
 の陽小白神の磯あり深浦も遊き坂山も地を神より  
 少もゆりたるゆかり名も多し遠はむいふゆかり  
 たりも蝦蟇人の栖家してんをゆりもたれぬ  
 ありつ枝鹿のゆかりも海もたれぬゆかり  
 山に雪のゆかり田は不見はる大内田のゆかりあり  
 あり村の名もさふなるゆかりあり在りそのゆかりあり

後

出羽介と侍君のちつらん政所ありしもの諸もゆり  
 二井田と村とある中、白鶴山倫勝寺とゆふ寺あり  
 むし檜山のひんりや母射の邑の蟹子澤とよこ  
 國清寺とよき華嚴の寺ありし在天禪師と開山し  
 あり黒尊佛とよきあり在天木像をよめ西尺ありし  
 尺しての地寺に寺ありしやの寺ありし永録七寺のありし  
 ありし寺の榮へしし乱れありし秋田太郎の百廿石  
 二斗三升と寄られ龜龜山補陀寺の末裔なりし明曆の  
 ころ補陀寺の六世宗瑞和尚とゆふ開山してせしむ  
 ありし地とありし道元禪師の流にむし寺とありし  
 ありしありし大槻ノ二ありし此寺も大銅二のありし  
 直徑五蝦夷塚とゆふ白首の出家石の相小ありしあり

機織村ありし柿のゆりありし柿のゆりありし柿の音  
 ありし門田とありし田方のありし

ゆりゆりの柿のゆりありし柿のゆりありし柿の音  
 里のありし一村のありし出れし曾利の目と字ありし白田  
 ありし一本木とありしありし見角の樹ありし和銅垂垂の  
 ありし此樹のありしありし桐木のありしありしありし  
 のありしありしありしありしありしありしありしありし  
 廿三日つとありしありしありし善城山淨明寺と出  
 ありしありしありしありしありしありしありしありし  
 白田山とありしありしありしありしありしありしありし  
 節の夜又志屋のありしありし霧山の柿とありしありし  
 史斯加呂萬智多満地と根ありし學問長兼ありし



嶋と白神馬背内<sup>ロカ+</sup>の口まゝ<sup>ロカ+</sup>、霞の空をまつらうし、  
 のら寒く吹ちさく、六も四方を括むもあはれなりし、  
 桐の澤、旭の澤、もと深谷のそこ、轉らざるの舟、  
 尊もある船、舟の舟、の舟、の舟、の舟、  
 カツとそまぐ、此ある此澤、油土とのありし、  
 大越るの門脇の翁おれと、持し、身大なる蠟燭の  
 つら、事にうあらし、をり、鏡紗の沓、夜あはれ、  
 その土、あると、いふ、いふ、いふ、いふ、  
 しの、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、いふ、  
 舟、舟、舟、舟、舟、舟、舟、舟、舟、舟、舟、  
 の額、月舟、和尙、大寺と、額、す、つ、つ、つ、つ、  
 五、城、介、實、李、い、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、

ゆけ、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、  
 日あけ、も、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、  
 前、垣、より、い、い、い、い、い、い、い、い、  
 三、豆、此、稻、寺、也、い、い、い、い、い、い、  
 経、て、み、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、  
 い、い、地、あ、る、も、い、い、い、い、い、い、  
 舟、船、つ、あ、る、の、観、と、い、い、い、い、い、  
 川、舟、の、宿、方、は、蛇、の、あ、ら、い、い、い、い、  
 い、多、く、い、い、い、い、い、い、い、い、い、  
 あり、と、觀、音、い、つ、つ、つ、つ、つ、つ、  
 き、わ、つ、に、流、す、水、と、辞、の、澤、と、い、い、い、  
 花、を、い、い、い、い、い、い、い、い、い、

善の清水、やうきとあれ、海蔵寺のへ道、  
 山、まじやう、むきま、これの反りぬあ、の觀世音  
 つまづ、清水寺、うとも、こ、あひの鈴、音、り、の、  
 け、の、ま、く、鶴、形、の、ま、あ、て、小、林、長、左、衛、門、の、ま、  
 人、か、別、れ、て、日、山、の、ま、あ、れ、ひ、ま、あ、ま、あ、ぬ、  
 廿四日、あ、の、反、と、こ、あ、ふ、う、れ、あ、れ、ま、ま、ま、北、鶴、  
 くれ、か、ん、季、忌、宮、ま、ま、し、ま、ま、新、小、階、ま、ま、ま、頭、  
 の、高、小、ま、ま、集、ま、ま、ま、酒、か、ん、あ、あ、あ、あ、あ、あ、  
 ま、ま、ま、ま、ま、初、年、の、茶、ま、ま、ま、あ、あ、あ、あ、  
 廿五日、小、雪、あ、り、ま、ま、ま、ま、ま、鶴、形、の、村、ま、ま、  
 雀、卧、澤、ま、ま、ま、ま、ま、ま、舟、ま、ま、ま、ま、ま、ま、  
 望、の、ま、ま、早、殿、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、

ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、  
 瀬、の、小、川、も、水、ゆ、う、流、り、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、  
 弘、法、堂、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、  
 康、平、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、  
 の、ま、ま、ま、ま、津、輕、の、藤、崎、ま、ま、ま、ま、ま、ま、  
 高、田、里、の、子、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、  
 と、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、  
 そ、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、  
 き、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、  
 の、話、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、  
 う、出、羽、の、國、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、  
 あ、り、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、ま、

くれし 林平とよみ本原とよしとよみとよみ 本村の米瀬のやぶふりぬ  
谷の梅の宿のあり名とよみとよみ 正福寺とよみとよみとよみ  
その廣く殖やしつとよみとよみ 離とよみとよみ 二八田とよみとよみ  
あつとよみとよみの堂とよみ 神とよみ 鶏栖とよみとよみとよみ  
いふとよみ 津川の阿彌陀川とよみ 浦とよみとよみとよみとよみ  
とよみ 大高相模守康澄の末の此村もとよみとよみ 進喜世とよみの  
遠つとよみとよみ 僧とよみ 繪佛師とよみとよみとよみとよみとよみ  
戸白子とよみとよみとよみ 渡とよみ 渡津代とよみ 敬正寺とよみとよみ  
とよみとよみとよみとよみ 村のとよみとよみとよみとよみとよみ  
の捨とよみとよみとよみとよみとよみとよみとよみとよみとよみ  
多しとよみ 四合餅とよみとよみとよみとよみとよみとよみとよみ  
在るとよみとよみ 敷とよみ 柳とよみ 神とよみ 道のりせ

とよみとよみとよみとよみとよみとよみとよみとよみとよみとよみ  
流れぬとよみとよみとよみとよみとよみとよみとよみとよみとよみ  
はとよみとよみとよみとよみとよみとよみとよみとよみとよみとよみ  
の中とよみとよみとよみとよみとよみとよみとよみとよみとよみとよみ  
もとよみとよみとよみとよみとよみとよみとよみとよみとよみとよみ  
元龜天正とよみとよみとよみとよみとよみとよみとよみとよみとよみ  
ありとよみとよみとよみとよみとよみとよみとよみとよみとよみとよみ  
もとよみとよみとよみとよみとよみとよみとよみとよみとよみとよみ  
久村の石とよみ 鹿野城とよみ 鹿村とよみ 鹿之森とよみ 徳昌庵とよみ  
あつとよみとよみとよみとよみとよみとよみとよみとよみとよみとよみ  
亦とよみとよみとよみとよみとよみとよみとよみとよみとよみとよみ  
中とよみとよみとよみとよみとよみとよみとよみとよみとよみとよみ

瀬川三平の御代  
 所住臣三平の御代  
 三平の御代  
 三平の御代  
 三平の御代  
 三平の御代  
 三平の御代  
 三平の御代  
 三平の御代  
 三平の御代  
 三平の御代

のうふふ舟ぬりつゝ見ゆわきとめりてあはれむ  
 日もつらかりし舟便は落合と小箱岬と下濱とつゝ  
 汐瀨と中場ととこありあめさかひいむつ国邊とて  
 阪上將軍田村磨の意うつむルナひく御膳と儀  
 石清水の神垣をうつむひしむ世と河助も流れうつて  
 清代もとこころふれに神能もつ能代ありはる  
 大森の清まうアアむつらんもつて眞住言の神能も  
 ひつみられたして八幡さんさの浦おせとつむつおん  
 神のおももせりてはまほくちんあまよはし神の御名勤  
 第へもあつたはつがれはささきと色にさうさん  
 せ中湯の浪もつれはるる川流を南の舟つき  
 さく清代とつて伊東うづのさきつれさう

夜余遊の七日とる清代の国邊よもも四方ともに見  
 わさひの遠さけさうさうさうさうさうさうさうさう  
 わさひのうたの花の面影うさうさうさうさうさうさう  
 雲れむさゆ伊也庄の森の小松とてあまの御妻  
 原のみりぬさう秋野の沼も風情ありつよめりつ  
 坊崎さうりぬさうさうさうさうさうさうさうさう  
 とゆふ小潮乾田田屋とて大伴の塘とてさうさうさう  
 町の田面と水と渡とて大伴の築きとてさうさうさう  
 形の靴の中とさうさうさうさうさうさうさうさう  
 今泉とつまむ村に見てさうさうさうさうさうさう  
 神能のすさひ見ゆあはれつむつらさう  
 あつれさうさう  
 靈龜山の山頂ふ出さうさう  
 七



古田王の堂小海うつ杉清水流れて神さひわつ  
檜山の里にうつや梅咲つとわたり花をまき

八日、永年忌宮の御前よりその御供養と見はつ  
梅の香もひらきよきよきよきよきよきよきよ

木の茂る風、神のちきり花をまきつて出づ  
十日つとわつとわつとわつとわつとわつとわつとわつ

物語もつとわつとわつとわつとわつとわつとわつ  
見えみえをみ雪をまきつとわつとわつとわつとわつ

とわつとわつとわつとわつとわつとわつとわつ  
梅の香もひらきよきよきよきよきよきよきよ

惜しう言はるるもつとわつとわつとわつとわつ  
月の朧夜とわつとわつとわつとわつとわつとわつ

十日雨のそら晴れて今きよは師絵師の道藤傳言  
よき中はつとわつとわつとわつとわつとわつとわつ  
世の櫻の多きやをあつとわつとわつとわつとわつ  
あつとわつとわつとわつとわつとわつとわつとわつ  
よき中はつとわつとわつとわつとわつとわつとわつ  
つとわつとわつとわつとわつとわつとわつとわつ  
花の香もひらきよきよきよきよきよきよきよ  
人ぬりたん、梅の香もひらきよきよきよきよきよ  
聞えり、大森の口やみりつとわつとわつとわつとわつ  
よき中はつとわつとわつとわつとわつとわつとわつ  
飛せり、櫻島とわつとわつとわつとわつとわつとわつ  
よき中はつとわつとわつとわつとわつとわつとわつ

夏の日の花のむくもさうさうむくむ羽風も  
 白く山うき 粟澤のひらぬらう杉澤のむくも  
 もむく屋さう谷さう久保明鳥のむくも志戸橋の山路  
 なる潮瀬水あけのむくもさう森里のむくも  
 渡り砂子沢のむくもさう茶毗の澤さう  
 太谷あの中むくも倉龍さうあつ澤ありむくも  
 小まねありむくもさう人の頭さう草の中さう  
 あつさうあつさう烏帽子長峯のさう  
 道さう達子さうさうあつさう宿道さう  
 三つ体さう常樂寺の薬師堂さう刀間日の澤川  
 かく古城のさう流さう風情さう長高さう  
 あつ迎藤氏のさうさうさう見 明の高玉堂

うらうらうたを山繪のうらうらうたを  
 ながしと泣きめさうさう

十五日のさうもこ山嶺眼さうさう例のさう  
 さうむさうさうさう長百銭さう宮野目さう  
 嬢櫻のさう見一日文山居の庵さう  
 さうさうさうさうさうさうさうさう  
 さうさうさうさうさうさうさうさう  
 さうさうさうさうさうさうさうさう  
 小野小町のさうさう小野清水のさう  
 鬼首山権現の杜さう櫻もさう

ままのさうもさうさうさうさうさう  
 花のさうさう 梵定山さうさうさうさう

加比良 祁淵  
名は比良 時代か  
多し 多し  
そのり多し

名高し是も其れ後五位下源義家のみ出羽守なり  
此寺におゆらぬのみあけく建治のゆきか  
このく高杉山と見ゆ 落人村とていふ  
よし佳いと多く 葎 小庭のまゝ  
あまの 足小庭のまゝ 佳くも  
床のゆい 小雨ゆりぬ  
砂子澤のまゝ 小ひらぬ  
いと多く 春ゆりぬ 田毎の 柄の籠  
淡ゆりのまゝ 春ゆりぬ 鉄竹  
小切とて男女のまゝ 花の林  
あまの 柳りぬりぬ 花のくま  
あれ馬風よとて 馬をい 猿鳥のまゝ

以登利 二通  
一馬二取  
のまゝ 村の名  
多し 多し

増浦 村のまゝ 興五左衛門  
名の中宿の二通の村とて 神馬澤のまゝ  
あまの まゝ 大の梅のまゝ 花のまゝ  
あまの まゝ 香のまゝ 桃梨 本寺の  
あまの まゝ 観音蓮の花のまゝ  
あまの まゝ 佛の名  
あまの まゝ 高城  
あまの まゝ 師走長峯  
あまの まゝ 三輪岬 高野山 杜山 河代  
あまの まゝ 湖水のまゝ



田井の水ひく大池あり塙ありあそびやあはれむとて傳へあれ  
 義豊三浦介平義明の地をりし鐘倉君とて飽田路あり  
 城介實冬まじつゝあ浦城をめぐり逆意ありむねとて  
 腹ふきりて死せらるせりその子三浦の五郎九義包とて  
 さやい世をてそを争ひ北野の原をうこれとて湊の町とて昔  
 のちありあれありとて見えしあふたあまのまのまを  
 かりてあそびくをやらうかしやれもあふつらわさば  
 の多うれを神と齋ひまつつてま社一日市れくあや  
 りたりとありあけつらうさんてあ浦の地を名く流  
 らうとてそも柳梅の夕葉帯梅はるるまもりりんと  
 えつ様その多く秋の空の色をかあ葉ぬそのあふ  
 あふとてあらん日のまて浦の村はわりあつあふとて

矢橋 元町 浦大町 浦横町 小鎗鼻 鐘澤  
 白水澤 ちよ村 丁をその在也町くわあて色ありあ  
 宿しあゆむ浦横町の村は多く見玉嘉兵衛とてその  
 つもあゆむ隣り女のもつとて童をさうひんばの言葉  
 留主居せりあゆむとて夜居の僧とてあふた母病  
 語めたれ詞もあゆむとていさねあふたらしあゆむ  
 ともあゆむぬれとていさねを森とてあゆむとて  
 あゆむとてあゆむとてあゆむとてあゆむとて  
 十二日つとてあゆむとてあゆむとて盛殿山東國寺常福院とて  
 古義の真言の書あり花とてあゆむとてあゆむとて高丘の神あゆ  
 ちんとのあゆむ雞栖ふれとて羽黒權現と齋ひてあゆむ  
 ひんあゆむとて彌陀 樂師 觀世音の種字ありあゆむ





漆川名と鯉川とて川流をへしとのまひりてふまはし  
 廿三と村名とてふはつたかんそのとほのまんさあは  
 ありしけんゆき家て藤原與重即とて姓かま  
 りしそとをふみか山屋のむとてとて鹿屋の浦より  
 さいひいこまおちりつた人ともあれもあつたといふ  
 十七日度後子存りしとてし青山玄丹近藤忠實の  
 ちとておひつりつむつちまかひく徳かんておぬ  
 高嶽山松庵寺といふのせよと野村とてとては在  
 庵ありと天文廿三年にまきしして補陀寺の十二  
 なる察心壽鑑和尚と開山とて大寺といふぬ  
 椿木尻といふゆりより一本樹とてつひのぬあふ  
 ぬま古屋舗のあつむり壽喜つとてとて極家せむと

猿田の山里とて維平は小虎は六社山毛左  
 田といふは駒むらひ防も教つてぬとてた  
 及び維平討つてぬとてあはれとてとて大方と  
 龍湖度後志加の度かして山毛山屋とてあふ  
 ちのちの軍まみあつてつひ世と徳と袖とつたぬ  
 左田の挑櫻やとてとてとてとてとてとてとてとて  
 びと小瀧といふとてとてとてとてとてとてとて  
 寶永三年丙戌五月正安寺十二世智雄  
 了察和尚とてとてとてとてとてとてとてとてとて  
 山代といふ僧智雄とてとてとてとてとてとてとて  
 龍と作りとてとてとてとてとてとてとてとてとて  
 ひとつとてとてとてとてとてとてとてとてとて







富人の住ぬるまじいく本年拵りつゝの  
 りの花佐 照井象賢の  
 一はしるべのまじしるべ仙人のまじはれん  
 桃のまじる地の 伊藤祐友の  
 かりんばやしとあはれしづるまじとあはれん  
 りの花ひやしとあはれしづるまじとあはれん  
 や月ふるしつとあはれしづるまじとあはれん  
 の色まじい 蘇酩花の色まじい  
 本瀬の村ふるまじい 田舎のまじい 桃畑のまじい  
 ありしつとあはれしづるまじとあはれん  
 廿四日 相澤光武まじい 日山の花のまじい  
 見えんとく 宿のまじい 伊東まじい

出て仁井田の夜まじい 偏勝寺の船繋の観あま  
 世帯齋観あま かつまじい ありしつとあはれん  
 まじい 見つ門とあはれ 播磨寺まじい 宿の  
 井のまじい 大木まじい 重櫓のまじい  
 誰れもかまじい 井のまじい 宿のまじい  
 花の下まじい 宿のまじい 井のまじい  
 まじい 宿のまじい 宿のまじい  
 まじい 宿のまじい 宿のまじい  
 ありし伊東まじい 宿のまじい 宿のまじい  
 季子忌官のまじい 宿のまじい 宿のまじい  
 まじい 宿のまじい 宿のまじい

櫻のうらうらと花は雪の丁立の如く

山の名は花路よむ世ひくうなはもむと思ふ  
よまろ花をの、花のまをくむそのゆうわけの  
わう橋のうつふとさうあつひ

花の枝の色くわのひもぬをひりまの目山の  
さうりつた、とよひ、地を麻寺の中うらん

廿六日、むつより馬を出たら橋のひくま  
けうとちりくまん、落花如雪馬蹄香  
樹黄鸝欲斷腸行到小橋春影  
一溝清水浸垂楊、とよひのさう  
いへ、ひつ馬とまふ、光武と別れ

破損あり

21/21

